

つかむ

調べる

まとめる

深める

～単元の学習をキーワードで振り返り、自動車生産における工夫や努力をまとめる活動～

1. 小単元名『自動車づくりにはげむ人々』

(教科書：『小学社会 5 上』 p.110～131／学習指導要領：内容（3）ア，ウ）

2. 小単元の目標

自動車を生産し出荷する人々の仕事の様子について調べ、消費者のニーズに応えるため、あるいは効率よい生産を進めるために、多くの工夫や努力がなされていることを捉えさせる。

3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
自動車づくりの仕事やそれに関わる人たちの工夫や努力について関心を持ち、意欲的に調べようとしている。また、これからの自動車づくりについても、意欲的に考えようとしている。	自動車づくりの様子について問いをもち、予想して、それらを適切に表現している。また、自動車づくりに関わる仕事の様々な工夫や努力について、資料や調べたことをもとに考え、適切に表現している。これからの自動車づくりについても、自動車に乗る立場と、開発者・生産者の立場の両面から考え、適切に表現している。	自動車の生産の様子や工場の立地、運輸の様子などについて、地図や自動車会社のウェブサイト、パンフレットなど、様々な資料を適切な方法で収集し、読み取っている。	自動車の生産や輸送における工夫や努力に気づき、生産の主な工程や自動車工場と関連工場との結びつき、交通網の広がりについて、理解している。また、自動車は消費者の要望に基づいてつくられていること、これからは地球環境に配慮した自動車づくりも重要であることを理解している。

4. 指導にあたって

(1) 教材について

本小単元では、わが国の基幹工業である自動車生産を取り上げ、自動車がどのような過程でつくられていくかを調べていく。大きくは「組み立て工場」を取り上げるが、そこで生産されているものが、たくさんの「関連工場」を経て生産されていくことについても調べる。また、完成した自動車が消費者のもとに届くまでには、様々な方法で輸送されていること、自動車は乗る人の願いに応えるためにつくられていることなども捉えさせたい。

(2) 指導上の工夫・留意点

本小単元は、見学活動を含めて13時間扱いと、比較的長い期間にわたって展開している。そのため、追究過程で学習意欲が持続できるように留意する必要がある。そこで、「組み立て工場」や「関連工場」の製造過程の写真を正しく並び替える活動や、学習したことをグループで話し合い、考えを深める場面を適宜設けるようにする。

また、毎時間の授業ごとに、学習内容を総括して深めるために、「今日の授業を一言で」まとめる。

各自で考えたあと、グループで話し合い、学級の「今日の授業を一言で」をつくる。同時に、その日の板書を振り返り、大切な内容や言葉を確認する。「まとめる」場面では、各時の「今日の授業を一言で」(＝キーワード)をまとめ、グループから学級全体へと話し合いを広げ、学習問題のこたえを導き出すようにする。

5. 小単元の指導（総時数 13 時間）

時数	ねらい	○学習活動
① (つかむ)	自動車のデザインや設計の様子を調べ、自動車づくりの第一歩を捉えるとともに、その後の生産の様子について興味をもつことができるようにする。	○自動車のデザイン・設計の仕事に関する資料を読み取り、わかったことをまとめ、学習問題をつくる。 自動車づくりにたずさわる人たちは、人々の願いに応えるために、どのような工夫や努力をしているのだろう。
② (調べる)	自動車が生産者のもとに届くまでには、自動車工場だけでなく、関連工場や運輸、販売などはたらきがあることや、環境保全の取り組みなどについて調べ、自動車づくりの様子について捉えることができるようにする。	○自動車づくりの授業が終わるごとに授業の内容を「今日の授業を一言で」としてキーワードでまとめ、その理由もノートに書く。その際、授業のポイントを板書で確認する。グループ内でノートを見せ合ったり、授業の内容について話し合ったりする。グループでまとめたものを、学級全体の「今日の授業を一言で」としてまとめる。
③ (まとめる)	これまでキーワードとしてまとめてきた、自動車がつくられる様子、運輸、販売、環境保全の取り組みなどをもとに、学習問題のこたえを出し、これからの自動車づくりについて考えることができるようにする。	○これまでの授業でまとめてきたキーワードを振り返り、それらをまとめて、学習問題のこたえを出す。 自動車づくりにたずさわる人たちは、 ♡大切にしていること「人々の願い」「環境」「よりよい製品づくり」「協力し合いながらの自動車づくり」 ☆工夫や努力「分担」「むだのない生産」 をして自動車をつくっている。

6. 本時の指導（第 13 / 13 時）

(1) 本時のねらい

自動車づくりに携わる人たちの工夫や努力、大切にしていることについて、これまで学習してきたことをまとめ、これからの自動車づくりについて考えることができるようにする。

(2) 本時における考え合い表現し合う活動と指導の留意点

本時は、これまで毎時の授業でまとめてきたキーワードをもとに、学習問題のこたえを考え出す授業である。そのうえで、これからの自動車づくりについても考えていく。

これまで、注文してから消費者のもとに届くまでの自動車づくりの過程について学習してきた。

その際、授業の最後に「今日の授業を一言で」(＝キーワード)を各自でカードに書いたあと、グループや学級全体で共通するものはないか並び替えさせるなかで、共通する「ことば」を見つけ出してきた。その「ことば」と学習した内容をつなぐことで、学習を深められるようにしてきた。

本時では、毎時間の授業の積み重ねを振り返り、これまでどのような学習を行ってきたかについても一度想起する。各時の「今日の授業を一言で」と、その言葉を選んだ理由を振り返るとともに、似ているものを探してまとめ、学習問題のこたえを導き出すようにする。その際、例えば「大切にしていること」や「工夫や努力」といった概念でまとめることが考えられる。

(3) 本時の展開

時配	○学習活動 T:発問 C:児童の反応	◎資料 ◇留意点 ◆評価
10	<p>○本時の課題と、小単元の学習問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題</p> <p>これまで調べたことをもとにして、自動車づくりについての学習問題のまとめをしよう。</p> </div> <p>○これまで授業ごとにまとめたキーワードを振り返る。</p> <p>T:これまでまとめてきた「今日の授業を一言で」には、どのようなものがあつたでしょう。</p> <p>C:自動車をつくっている人は、「よりよい製品づくり」ができるように考えている。</p> <p>C:自動車をお客さんのもとに届ける人たちは、乗る人たちのことを考えています。これは、「人々の願い」としてまとめました。</p> <p>C:自動車工場では、工場に出るゴミなども、できる限り減らしたり、リサイクルをしたりしている。「環境」について考えて取り組んでいる。</p> <p>C:自動車をつくる人は、「組み立て工場」や「関連工場」で、それぞれの仕事を「分担」している。</p> <p>C:効率的に自動車をつくり、ゴミなども出さないようにして、「むだのない生産」をしている。</p>	<p>◇学習問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自動車づくりにたずさわる人たちは、人々の願いに応えるために、どのような工夫や努力をしているのだろう。</p> </div> <p>◇学習問題に対するまとめの根拠とするために、これまでのノートを振り返る。</p> <p>◎これまで学習してきたノート</p> <p>◇前時まで学習してきたことをキーワードに基づいて振り返り、なぜそのキーワードにしたか、理由も考える。</p> <p>◇キーワードと学習した内容を結びつけやすくするために、これまで活用した写真やグラフなどの資料も提示して、キーワードと結びつける。</p>
25	<p>○グループで話し合い、「今日の授業を一言で」の中で似ているものをまとめる。</p> <p>T:これまでの「今日の授業を一言で」の中で、似ているものを考え、二つほどの「ことば」にまとめていきましょう。</p> <p>C:6枚のカード(「今日の授業を一言で」)を見て、グループのみんなで、似ているものを組み合わせよう。</p> <p>C:自動車づくりに携わる人たちは、自動車に乗る人たちのことを考えて生産していたから、「人々の願い」と「よりよい製品づくり」は、つながりそうだよ。</p> <p>C:組み立て工場や関連工場での仕事の「分担」をして、それぞれの工場でする限り「むだのない生産」をしていたの</p>	<p>◇各グループに、これまでの「今日の授業を一言で」が書かれたカードを配付して、似ているものを二つ程度のカテゴリーに分類させる。</p> <p>◇カードを分類するなかで、自動車づくりの仕事をさらに焦点化し、「似ているもの」をまとめる「ことば」を見つけられるようにする。</p>

で、この二つはつながりそうだね。

T: 各グループで話し合っていく中で、「今日の授業を一言で」の似ているものを見つけ出せてきましたね。なぜそのように分けたのか、グループで話し合しましょう。

C: これまで学習してきたことをもとにすると、「分担」と「むだのない生産」は、工場の取り組みとして、一つにまとめることができそうだから。

C: 「人々の願い」や「よりよい製品づくり」は、どちらも乗る人のことを考えているということだから。これは「大切」という言葉でまとめられないかな。

C: 「分担」や「むだのない生産」ということは、つくる人たちの「工夫や努力」という言葉でまとめられるかな？

C: 「協力し合いながらの自動車づくり」をどうまとめるか難しかったけれど、「大切」の中に入れられそうだな。

T: 今日、グループで話し合ってきたことを、みんなでもとめて、学習問題のこたえとしましょう。

C: わたしたちのグループは、「人々の願い」「よりよい製品づくり」「環境」「協力し合いながらの自動車づくり」を「大切にしていること」にまとめ、「分担」「むだのない生産」を「工夫や努力」にまとめました。

C: 他のグループのノートを見て、「工夫や努力」については、乗る人のことを考えることも大切だけれど、乗らない人のことを考えることも大事ではないかと思いました。

T: では、学習問題のこたえをまとめていきましょう。

◇カードの分け方の理由、考えた「ことば」の理由をノートに書く。

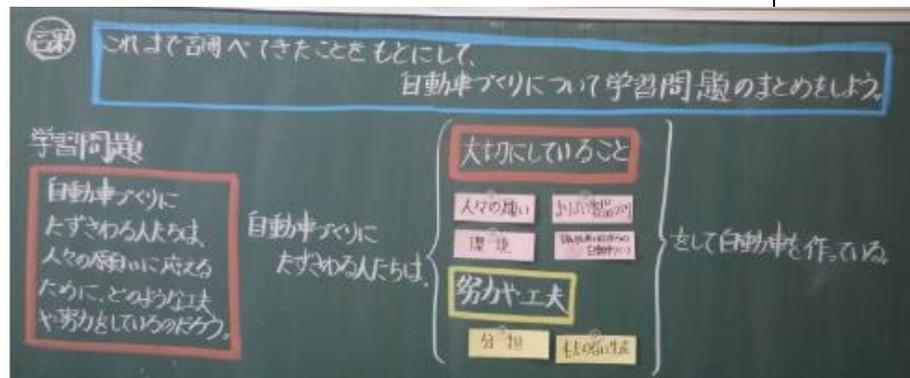
◇自分のグループだけでなく、別のグループのノートも見て参考にする。

◇別のグループのノートを見て、よい考えがあったときは、質問をしたり「友達の意見」としてノートに書いたりする。

◇グループでまとめたことを学級全体の「学習問題のこたえ」としてまとめ上げる。書き出しは教師が提示する。

◆わが国の自動車生産の様子について、学習問題のこたえを考えている。

【思・判・表／ノート】



←学習問題のまとめの例

10 ○これからの自動車づくりについて考える。

T: これまで自動車づくりについて学習してきたことから考えると、これからは、どんなことに気をつけて自動車づくりをしていけばよいかな？

C: 電気自動車などが開発されてきているので、これからも空気を汚さない自動車づくりは大切だと思う。

C: 交通事故がなくなってほしいから、事故を起こさない自動車の開発に注目していきたい。

T: これからの自動車づくりについて、ノートに自分の考えを書きましょう。

◇これまで学習してきたことをもとにして、これからの自動車づくりはどうあるべきか考えるようにする。

◇小黒板やホワイトボードなどに各自の考えを書き表し、それをもとに話し合う。